



# 心の足跡



道徳教育だより  
令和 4年 12月 1日  
第 6 号  
飯能市立原市場中学校  
発行: 学校長、道徳部会

## 少年の主張

本校3年生の田中百音さんが、11月20日に飯能市民会館で行われた、「少年の主張大会」に出場しました。飯能市内で874点の応募があり、その中の6名に田中さんの作文が選ばれました。当日は、コロナの感染予防のため、無観客で行われましたので、右の写真は、11月15日に行われた、学校朝会でみなさんの前で発表した時のものです。田中さんは、普段交わしている何気ないあいさつには実は深い意味があって、それぞれの言葉の持つ、相手を思いやる気持ちに気づき、あいさつを大切にしていきたい、と言う内容を身振り手振りを加えて、話をしてくれました。なお、田中さんは今回のスピーチで見事「優秀賞」を受賞しました。

写真は省略しています。

### 「その言葉の裏には」

「行ってらっしゃい。」「いってきます。」「ただいま。」「おかえりなさい。」私は、最近になってこれらの言葉の意味を知りました。私が、いつも中学校へ登校するとき、「おはようございます。行ってらっしゃい。」と元気に挨拶してくれる七十歳ぐらいの近所のおじいさんがいます。そのおじいさんは、いつも私に「今日も暑いけど頑張ってるね。」や「大会、頑張ってるね。」と一言、応援メッセージをくれます。そして、そのおじいさんは、登校する中学生や犬と散歩をしている人だけでなく、通勤する車やバス、トラックにも挨拶をしています。その挨拶を聞いた人たちは、おじいさんのことを「絶対、車なんかにも言っても聞こえないでしょ。」と言っていました。また、私もその中の1人でした。

そこで私は、気になってそのおじいさんに、何で挨拶をするのかを聞いてみました。すると、そのおじいさんは挨拶の言葉の意味について、たくさん教えてくれました。「行ってらっしゃい。」は「行って、無事に戻って来てください。」という意味で、「いってきます。」は「今から出かけます。そして帰ってきます。」という意味。「ただいま。」は「いってきます。」という約束を果たした時の言葉。それに対して「おかえりなさい。」は、「約束を守って帰ってきてくださりありがとうございます。」という感謝の言葉、と色々なことを教えてくれました。

このことを聞いた私は、とても驚き、毎日毎日挨拶をしてくれているおじいさんに、とても感謝しました。なぜなら、そのおじいさんが毎日大きな声で「行ってらっしゃい。」と言っていた裏には、実は「行って、無事に戻って来てください。」という、彼の思いや優しい心が詰まっていることに気がついたからです。

みなさんは、親しい人だけでなく、親しい人以外にも言っていますか。また、それは心のこもった挨拶ですか。私は、「いってきます。」や「行ってらっしゃい。」などの言葉は親しい人にしか言っていない。そんな中、彼は、親しい人、親しくない人、一度も話したことのない人でも分け隔てなく、大きな声で明るく元気に挨拶をしています。そんなおじいさんを私は尊敬しています。

2019年4月19日に池袋でブレーキとアクセルを踏み間違えたことにより、計11人もの死傷者が出た、池袋暴走事故が起きました。そしてその11人の中には、三歳と言う小さな子どもが命を落としました。私がこのことを知ったとき、将来の希望や期待に満ち溢れていた小さな子が、こんなにも簡単に命を奪われてしまうのだと驚きと悲しみを隠せませんでした。

朝、元気に「行ってきます。」と言っていた人が、突然「ただいま。」と言えなくなってしまうかもしれません。もし、そうなってしまったときに、その人の身の回りにいる人は、どう思うでしょうか。きっと、とても悲しんだり、後悔するのではないかと思います。

私は、おじいさんの挨拶の意味の話を聞く前は、急いでいたり、喧嘩をしていると「いってきます。」や「行ってらっしゃい。」と言わなかったりしてしまっていました。もし何かがあり帰らぬ人になっても後悔しないように、そしてそんなことがありませんように。という願いを込めて、忙しかったり、急いでいたり、喧嘩をしても、絶対に「いってきます。」や「行ってらっしゃい。」「ただいま。」「おかえり。」と心を込めて言うようにしています。

1年生の実践 <教材名>「落ち込んだ状況からの脱却手段を考えよう」(ライフスキルトレーニング)

- 今日の授業で落ち込んだ状況からの脱却手段の方法が分かりました。私も嫌なことなどがあつたらすぐネガティブな考えを持ってしまって、結局は自分で自分を傷つけてしまいます。でも、これからは頑張つてネガティブ思考からポジティブ思考に変えて過ごしていきたいと思いました。
- 私は今日のこの授業で、一つの考え方で人生が変わるということを勉強できました。ポジティブに考えることによって、嫌なことがなくなり、人生もポジティブになるなと思いました。今日からなるべくマイナスに考えずプラスに考えて生活していきたいと思います。
- この授業を通して、同じ場面でも受け止め方で全然違うんだということが分かつた。これから、色々なことで悩むと思うけれど、どんなことでも前向きに受け止めるようにしたいと思いました。
- 普段、結構ネガティブなことを言っていたり、思ったりしているけど、今日の学習を通してこれからは周りの人も気持ちよくなるようなポジティブな声掛けをたくさん言っていきたいと思いました。ポジティブな言葉を使うと、自然に笑顔が広がると思うので、ポジティブな声掛けを積極的にしていきたいと思います。

2年生の実践 <教材名>「私は十四歳」(東京書籍 新しい道徳2) (内容項目A-3 向上心)

- 今日の授業を振り返つて、今までの人生で、スキー、一輪車、水泳、サッカーなどいろいろな経験をしてきたことに感謝したいと思いました。いろいろな経験が自分を強くさせ、成長させる。これからも挑戦と経験がたくさんできるように頑張りたい。
- 壁にぶち当たつても、壁の先に楽しいことがあると思った。
- 今日の学習で、人生であまり挑戦してこなかつたなと思いました。まだ自分らしい生き方をしているとは断言できないので、色々なことに挑戦して壁にあたりながら頑張りたいです。
- 今日の授業を通して、みんなの意見から自分らしく生きるための方法が分かつた。今、私は充実した毎日を送ることができていると思うが、挑戦が足りないと思う。失敗を恐れず、どんどん挑戦し、正しいことを自分の頭に入れ、楽しく生きていきたいと思った。
- 私は最近やつといろいろなことに挑戦できるようになつたと思う。新しい趣味の発見をするには自分が止まっていたらできなかった。少し続けてみて、そこで気になったことを次に生かしてまた挑戦できればいいと思う。

3年生の実践 <教材名>「しあわせ」(東京書籍 新しい道徳3) (内容項目B-9 相互理解、寛容)

A組

- 人によって考え方は違うけれど、一人の考えを否定したりしないことが大切。みんなで苦手なこと、好きなことや楽しいことなどを分け合えば、みんなも幸せになれる。少しのことでも幸せと思えるようにする。
- 幸せと言うのは、本当に幸せな時にしか感じないことだと考えた。自分の力で人を幸せにするということはできると思った。
- みんなが幸せになるには、固定概念を変えて視野を広げることが大切だと分かつた。思いやりをもって行動することを心掛けたいと思う。
- 人間はすべてが同じじゃないから人それぞれ考え方や価値観が違うのは当たり前なので、すべて否定しあうといつても暗い雰囲気になってしまうから、好意的にとらえることは大切だなと思いました。

B組

- 自分と他人を比べず、違いを認め合い、平和な日常を送ることが必要。
- 何かを決めるとき、全員が納得できる考え方を決めるには、社会の授業で習つたことを生かすのがいいことが分かりました。
- 全員の幸せのために、その人一人一人の意見を聞いて、それを踏まえて意見をまとめる。決める。その人の意見を尊重し、全員が納得するのは難しいけれど少しでもその良い形に近くなるようにすることが大切だと思います。
- 普通に日々平和に生活をしていることがすでに幸せだと思うけれど、個人個人の意見をしっかり聞くことが幸せにつながると思う。

やまなみ学級の実践 ソーシャルスキルトレーニング「はげましことばときずつけことば」

- やさしい言葉を言えば、相手も頑張れることが分かりました。
- 相手のことをよく考えて、どうしたらその人を安心させられるかが大事だと思った。
- 発言は良く考えてした方がいい。
- 相手がかっかりしているのに、傷つけ言葉を言つたらもっとつらい思いをしてしまうので、はげまし言葉を言つて、相手の気持ちを支えてあげることが大切だと思いました。